

## 執筆のしおり

広報SENACは、広く利用者の便を図るために、下記の要綱にしたがった投稿を掲載いたします。

1. お寄せいただきたい投稿内容
 

次のような内容の投稿のうち、当センターで適当と判定したものを掲載します。その際に原稿の修正をお願いすることもあります。

  - a) 学術あるいは技術に関する論説または意見
  - b) センターの業務、運営方針に対する要望または意見
  - c) その他利用者一般の方々に関心をもたれる事項に関する論説または意見
  - d) 計算機を利用して行った研究論文の概要
  - e) プログラムの実例と解説
2. 執筆にあたってご注意いただく事項
  - a) 原稿は横書きです。
  - b) 術語以外は、「常用漢字」を用い、かなは「現代かなづかい」を用いるものとします。
  - c) 学術あるいは技術に関する原稿の場合は 200 字程度のアブストラクトをつけてください。
3. 原稿の提出方法
  - a) サイズは以下を参照ください。
    - ・原稿(B5)の印字部分は縦21cm、横14cm
    - ・文字の標準は明朝体 10~10.5 ポイント
    - ・標準の文字数 (37 文字 43 行)
 その他詳細は、以下を参照ください。  
<http://www.cc.tohoku.ac.jp/refer/sipitu.html>
  - b) ファイルは Word 等で CD あるいはメールに添付して提出ください。
4. その他
  - a) 投稿原稿は原則として返却しません。
  - b) 執筆者には、希望があれば執筆号の PDF ファイルと別刷 50 部を進呈します。50 部を超える分については、著者の実費負担とします。別刷の希望部数等は投稿の際に申し出てください。
  - c) 初回の校正は、執筆者が行って、誤植の防止をはかるものとします。
  - d) 原稿の送付先は次のとおりです。

郵送：〒980-8578

仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3

東北大学情報部情報基盤課庶務係

Tel 022-795-3406、3407

Fax 022-795-6099

e-mail [uketuke@isc.tohoku.ac.jp](mailto:uketuke@isc.tohoku.ac.jp)

## 編集後記

今号の SENAC は、スパコンが更新されたので「SX-9 特集 Part1」の特別バージョンです。新しく発足した「東北大学サイバーサイエンスセンター」の最初という意味でもスペシャルです。約 30 年間の「大型計算機センター」から、7 年前に「情報シナジーセンター」になり、2 年前には「情報シナジー機構」が設置されてその内部になりましたが、また、全国の研究者の方々のための大規模科学計算のサービスと情報基盤の高度化および情報化推進のための組織に変わりました。すさまじい勢いで発展する情報技術の荒海と視界の難しさを象徴するような状況ですが、最先端に行く新センターの舵取りにご期待ください。(HS)

SENAC の編集委員であった前庶務係長が 3 月で退職されました。センターには 5 年間勤務され、この間に、大学の法人化、情報シナジー機構への改偏、事務職員の情報基盤課への編成、創立 100 周年事業そして新センターの改編等、大学とセンターの変革に庶務係長としてご尽力を尽くしていただきました。本当に有難うございました。

4 月、情報シナジーセンターは新しくサイバーサイエンスセンターと改編されました。また、新しいスーパーコンピュータのサービスも始まりました。ご期待ください。(EI)

### SENAC 編集部会

小林広明	曾根秀昭	水木敬明
後藤英昭	伊藤英一	山内 斎
加藤 昇	斉藤くみ子	

平成 20 年 4 月発行

編集・発行 東北大学  
サイバーサイエンスセンター  
仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3  
郵便番号 980-8578

印刷 大成印刷株式会社